

これまでの取組み

令和6年（2024年）6月11日
健康福祉部



国と県のこれまでの動き

1 国（こども家庭庁）

R5.4月1日	こども家庭庁設置、「こども基本法」施行
R5.6月13日	「こども未来戦略方針」 閣議決定
R5.12月22日	「こども大綱」、「こども未来戦略」等 閣議決定
R6.5月31日	「こどもまんなか実行計画2024」決定

2 熊本県（子ども未来課）

R5.5月19日	知事定例にて、蒲島前知事、くまモンによる「こどもまんなか応援サポーター」就任宣言等
R5.5月23日	市町村長、経済団体の長、県庁内幹部職員等を対象としたキックオフトップセミナーを開催
R5.5月26日	「こどもまんなか熊本」プロジェクトチーム、こどもまんなか応援団 設立
R5.6月7日	第1回「こどもまんなか熊本」プロジェクトチーム会議 開催 ※蒲島前知事も参加
R5.6月5日～ R5.7月7日	県民アンケート調査を実施し、約1万2千件の回答あり
R5.9月11日	第2回「こどもまんなか熊本」プロジェクトチーム会議 開催
R5.11月28日	県民アンケート結果について、知事定例記者会見で公表
R6.1月14日～ 2月4日	「教えて！聞かせて！「熊本の暮らし 理想の未来」グループインタビュー開催 ※1月28日の第2回には蒲島前知事も参加
R6.2月28日	令和5年度第1回熊本県子ども・子育て会議 開催
R6.3月15日	第3回「こどもまんなか熊本」プロジェクトチーム会議 開催
R6.5月10日	知事定例記者会見における発表 ➤ 「こどもまんなか熊本」推進本部立ち上げやこどもまんなか熊本ロゴマークを発表
R6.5月29日	第1回「こどもまんなか熊本」推進本部会議 開催

知事定例記者会見での発表概要（R5.5月19日）

令和4年の全国の出生数は、統計開始以来初の80万人割れとなりました。

熊本県においても、令和3年の出生数は、20年前から約25パーセント減少しています。

少子化対策は喫緊の課題であります。あらゆる立場の方々が、こどもや若者・子育て世代の視点に立ち、その最善の利益を考えながら様々な取り組みを実施する「こどもまんなか熊本」の実現が必要です。

（略）

先日、こども家庭庁で新たに「こどもまんなか応援サポーター」制度が創設されました。私はこの趣旨に賛同し、本日ここに、応援サポーターとなることを宣言いたします。

県では、社会の希望であり、宝であるこどもたちが健やかに育つ「こどもまんなか熊本」の実現を目指し、様々な取り組みを進めて参ります。

具体的には、先程ご紹介した「キックオフトップセミナー」や「県民アンケート」の実施に加え、庁内の若手職員の意見を取り入れた「庁内プロジェクトチーム」の設立など、県庁内の縦割りを打破した推進体制を構築します。

（略）

「こどもまんなか熊本」の実現に向けて、企業や県民の皆様とともに、「オール熊本」での取り組む必要があります。

今後も検討状況や取り組みの実施状況などを広く発信して参ります。



こどもまんなか応援サポーター就任宣言の様子

「こどもまんなか熊本」キックオフトップセミナーについて

1 開催趣旨等

- 「こどもまんなか熊本」を全庁的に進めていくにあたり、庁内各部局に「こどもまんなか熊本」の趣旨を理解してもらうことが重要。
- また、全庁的な動きとするためには、住民に直接サービスを行う市町村との連携や、議会・民間企業等の御理解・御協力も必要不可欠。
- そのため、以下のメンバーを対象にキックオフトップセミナーを開催。

<参加者> 県関係者（知事、副知事、教育長、全部局幹部職員（部長、局長等）、県議会、県職員）
市町村：首長、教育長、市町村議会、市町村職員
企業：役員等（商工会議所や商工会連合会、経済同友会等）

会場出席及びオンライン出席 約300名

2 開催方法

- 集合形式+オンライン形式 ※アーカイブ配信中

3 開催時期

- 令和5年5月23日（火）9時50分～11時30分

4 開催場所

- ホテル熊本テルサ テルサホール

5 開催内容

(1) 主催者挨拶（蒲島前知事）

(2) 基調講演

- 登壇者：こども家庭庁 小宮 義之 長官官房長
- テーマ：こどもまんなかを進めるにあたって地方自治体・企業等に期待すること

(3) 事例紹介

- 登壇者：岡山県奈義町 奥 正親 町長
- テーマ：「岡山県奈義町少子化対策～町全体での子育て～」



令和5年度のこどもまんなか熊本プロジェクトチームについて

- 全庁的に連携して「こどもまんなか熊本」の実現に向けた取組みを推進するため、関係課長等をメンバーとする「こどもまんなかプロジェクトチーム」を令和5年5月に設立。
- これまで3回のプロジェクトチームを開催し、「こどもまんなか熊本県民アンケート」を通じた課題・ニーズ等の共有や、「こどもまんなか熊本」に資する施策の洗い出し等を実施。
- これまでに出た意見は、今後の計画策定や施策の検討に活用予定。

開催実績

日程		開催実績	主な意見
R5年	5月26日	プロジェクトチーム設立	—
	6月7日	第1回プロジェクトチーム会議	—
		<ul style="list-style-type: none"> ➢ 「こどもまんなか熊本」の概要説明 ➢ 「こどもまんなか熊本」施策の照会 	
9月11日	第2回プロジェクトチーム会議	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 「こどもまんなか熊本」施策の共有（応援団の意見含む） ➢ 県民アンケート結果の報告（速報版） 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 県民アンケート結果やPTでの意見は、今後の施策推進に活用できるようにしたい。 ・ 総合戦略との関係も整理されたい。 ・ 子ども医療費の助成など、直接は市町村だが県としても国に要望して進めるような施策も議論したい。 ・ 応援団から県庁内の職場環境改善に係る意見が多く出ている（次頁参照）が、業務の見直しについても皆で努力していきたい。
	第3回プロジェクトチーム会議		
R6年	3月15日	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 「こどもまんなか熊本」施策の共有 ➢ こども計画の策定スケジュール共有 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 新しい知事のもとでの施策の打ち出し方を整理できるとよい。 ・ グループインタビューの意見は大変参考になった。今後の施策にどう活かすのか整理されたい。

知事定例記者会見での発表概要（R6.5月10日）

【知事コメント概要】

こどもまんなかサポーターの就任宣言ということで、私は「安心して結婚・出産・子育てができて、子ども・若者がキラキラするこどもまんなか熊本」を実現したいと思います。

ともかく子育て政策のために、多くの子育て世代の県民や県の職員など、当事者から意見をしっかり聞いていく場をこども未来創造会議などで作っていき、かつ個別の企業や団体、市町村とも意見をくみ交わして安心して働ける職場環境づくりをやっていきたいと思っています。

また、「『こどもまんなか熊本』推進本部」を今月末に立ち上げ、しっかりと県として推進して参ります。

こどもまんなか応援サポーター 就任宣言

熊本県知事 木村 敬

安心して結婚・出産・子育てでき、
こども・若者がキラキラ輝く
「こどもまんなか熊本」を実現します

【具体的アクション】

- ◆こども未来創造会議で、子育て世代など当事者・関係者から直接意見を聴取
- ◆企業・団体との対話を重ね、安心して働ける職場環境づくりの実現を訴えかける
- ◆「こどもまんなか熊本」推進本部を立ち上げ、部局横断的な政策推進組織を構築



こどもまんなか応援サポーター就任宣言の様子